

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 20 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法根拠, etc.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 main columns: ①事務事業の概要 and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順

Table with 3 main sections: (1) 手段, (2) 対象, (3) 意図. Each section contains specific metrics and target values.

Table (3) 投入量 (事業費) の推移. Shows financial and personnel data for 28, 29, and 30 fiscal years.

Table showing 29年度事業費実績 (千円) and 30年度事業費 予算 (千円) with itemized costs.

Table (4) 当該年度の実施内容. Lists implementation details for 30, 31, and 32 fiscal years.

事務事業名	岩瀬東部認定こども園管理運営事業	事務事業No.	10101000784	所属課	児童福祉課
-------	------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	児童福祉法第35条第3項の規定に基づき、働く保護者と幼稚園教育を希望する家庭を支援するためのこども園を平成28年に開園した。核家族・女性の社会進出に伴い、共働きの保護者が多くなりこども園に児童を預ける保護者が多い。少子化の傾向が強くなっているが低年齢児の入所児童数は増加している。近年、保護者の保育ニーズは高まり、我が子を中心として考える傾向が強くなっている。園に対する要望も増えている。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	改善点として、年齢別のクラス編成が望ましい、との意見があるが、アンケートの結果によると98%の保護者が安心して仕事に出かけられるという意見が寄せられている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	保護者からの要望等については、物理的に困難な場合もあるが、保護者側と協議して解決していく。
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている こどもたちが安全に楽しく過ごせるためには心身に共に健やかに育つことに結びつく。保護者が安心して子どもを預けられ、仕事の両立が出来る事、子育て支援の推進に結びつく。
目的妥当性	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 公立こども園の場合、家庭状況が厳しい子や心身発達に問題のある子など、保育を必要とするすべての児童を受け入れている。子育て支援は市としての課題であり、地域の核となる施設として教育・保育を行って行くことが必要である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない アンケートを実施した結果、98%の保護者が満足しているが、少数意見として行事日程の見直しについて要望があったが向上の余地がない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 子供が健やかに育ち、保護者が安心して預けられる環境を失われ、就労している保護者にとって仕事を継続していくことが困難になる。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 年間280日以上の開園が義務付けられており、ほかに手段はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 子供たちの健全で安全な保育のための必要経費であり、年々入園児も低年齢化していることから、安全・安心の保育教育のためには保育教諭の数を削減することもできない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 保育料については、保護者の課税額に応じて設定しており、額については公正公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点） こども園の運営については、目的妥当性、有効性、効率性、公平性のもとに適切におこなわれている。保護者からの要望が出た場合は、少しでも改善できるよう努力していく。																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 改革改善を行う → （複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果																								
コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>